

<h1>議 事 録</h1>	作 成 日	2021 年 3 月 31 日
	作 成 者	小林 愛

会議名	第 1 回多世代共生型施設運営委員会
日 時	2021 年 3 月 31 日 (水) 14:00~15:30
場 所	桑名市総合福祉会館 1 階 大会議室
出席者	委 員 : 長谷中委員長 川瀬副委員長 日比野委員 細井委員 加藤委員 藤永委員 寺崎委員 佐藤委員 田上委員 嶋田委員 河野委員 蛭川委員 橋本委員 水谷委員 平野委員 栗田委員
	事務局 : 山下常務 竹内局長 森山課長補佐 水谷係長 一戸係長 稲見園長 土屋センター長補佐 宮田主任 篠原 千種 小林
欠席者	委 員 : 安部委員 加藤委員

議事概要	
<p>1. 挨拶</p> <p>○山中会長</p> <p>多世代共生型施設の運営委員会は、委員のみなさま方が頭脳部分。本日を始まりに、どのように運営していくかと言うことを、いろいろな意見を出して頂き、社協が手足となって動いて行くことになる。全国的にも珍しく、画期的な施設を、みなさまのお知恵を拝借し、ぜひ成功させたいと思っている。</p> <p>～配布資料～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事項書 2. 委員名簿 3. 店舗資料 (店舗について・図面及びパース図) 	
<p>2. 委員紹介</p>	
<p>3. 運営委員会の概要紹介</p> <p>堅苦しくなく、気軽に、参加が楽しみになるような場にしていきたい。</p> <p>～目的～</p> <p>すでにある繋がりを強くし、この機会に各委員さんと職員等、新たな多様な繋がりを作って頂きたい。</p> <p>多世代共生型施設の運営にあたり、社協職員が中心となって取り組むさまざまな福祉サービス等に関する情報を公開し、ご意見を頂く、取り組みの評価・検証をする場という位置づけ。</p> <p>～構成～</p> <p>「全体会」：開催については、不定期。必要に応じて、柔軟に開催していく。</p> <p>「作業部会」：社協職員で毎月 1 回、定例開催。</p>	

4. 委員長および副委員長の選任

社協からの推薦、各委員の賛成により決定。

○委員長：長谷中 崇志委員長

「共に創っていく」という理念、及び、“理想”と“現実”の両方を大事にし、少しでも理想に近づけていく、どうすればできるようになるのかを考え、みなさんと共に創っていく運営委員会にできればと思っている。

○副委員長：川瀬 みち代委員

多世代型の施設は、地域がしっかりしなければいけないと思っている。みなさま方が代表として、地域の方々の意見を吸い上げて頂き、一人ひとりの意見を乗せていけるような場にしたい。和気あいあいとした形で、どんな意見でも出してもらえるような会議にしていきたいと思っている。

5. 各種報告

①事業の現状

福祉ヴィレッジ施設内に展開する取り組み7事業について、担当職員より紹介。

○養護

清風園は桑名市の施設であったが、令和3年4月からは、社協の運営施設になる。「地域に開かれた施設」を目指しているが、なかなか難しく、うまく実行できていない。多世代共生型の福祉ヴィレッジに移動した際には、地域のみなさま方から、養護老人ホームでして欲しいことなどのご意見を積極的に頂き、前向きに検討していきたい。

○母子

母子生活支援施設は、母と子が、DVや困窮などの問題を解決しながら自立を目指すための入所施設。地域の方々からも、温かく迎え入れ、見守って頂けるということで、嬉しく思っている。

○福祉型児童発達支援センター

令和3年度は、桑名市を始めとする隣接する市町の発達の気になる子どもが通う施設として事業を展開する。1日の利用定数は60名（定員は30名）。

山崎乳児保育所は、1～5歳児までの定員90名で運営。

○生活介護

現在は、知的・身体・精神障害の三障害の方が利用し、入浴・レクリエーション等の活動をしている。福祉ヴィレッジに移動した際は、散歩を兼ねた地域清掃等で地域の方と交流できるような方法を考えている。

○相談支援センター

桑名市社協として、障がい者を対象に、福祉サービスを利用する際の相談や計画・モニタリングを行なって来た。令和3年度は、桑名市のつぼみ（障がい児を対象とした計画相談等の事業所）と統合し一つになるため、担当者が変わることなく、切れ目のない対応ができるようになると思っている。

議事概要

○就労継続支援B型事業所

障がいのある方の働く場所のイメージ。建物の清掃や保育士のお手伝い、公園の日々の管理、店舗運営等を検討している。利用者の得意なことを活かせる仕事内容を考え、地域の方とふれあいながら交流が持てるような事業にしていきたい。

②今後の会議予定

次回以降の委員会の流れ

前半：現状報告

後半：テーマに沿った意見交換（例：福祉ヴィレッジ（仮称）の正式名称の協議等）

6. 意見交換

テーマ：みんなが行きたくなる、使いたくなる店舗とは！？

資料：店舗について・図面を元に説明（担当：千種）

グループごとの意見：別紙参照

7. その他

次回予定：施設の建設計画が落ち着く6・7月頃。

以上